

琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 沖縄関係 沖縄復帰準備委員会(1) (代表者会議第1回～第6回)

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43738

準備委設置前協議

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

まりん において行なうこと適当と考慮さ
るること

(4) 前項の狀態が予想されるにつき、少
くとも重要な内題については若干の
サブ・コミティーを設置するを要すべ
く、調整、基地(同労働)、経済、財政
保健、教育等の業務については現実内
題として検討せざるべからずと考へら
れること

(5) 主席の出席を要請するは極めて正式
の委員会限らるべく、但しサブ・コ
ムの審議においては充分冲絶側の意見
は聴取さるべく、右につきはアド・
コムの実験が大いに役立つべしと考へ
らるること。なお現在の T60 に琉球代
表部が存続すること可能とべくんば、
瀬長代表がディプティとして関与

—3—

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ありたく希望すること(本日午後シエ
トロ・レセプションの席上、屋敷主
席に対し本使より本件につき言交した
ること、瀬長のディプティまで全部
同意しおくりたり)。

(6) アド・コムにおいては、シヨットよ
りの出席は、フェアリーに上局とし
てサインし、ハイコムが決裁を得るま
じに相成りおるところ、現時点におい
ては、新機構における、ユスカーとフエ
アリーとシヨットとの関係確立にお
りず、フェアリーはハイコムは何かの
考へあつべきと付言し、本使の各
の代表部と冲絶事務所併任ありべしと
するお見地耳を述べ、フェアリーとし
てはユスカーの全組織を考へ協力方検
討中であること述べたこと、今後至急

—4—

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

明確にしなしたることであつた。

(7) 先般本使帰任直後のランバート・フ
 エアリーと本使との3者会議において
 も上記6項につき先方より言及あつた
 が、これを要するに、わが方考を充分
 分取入れ所期の効果を挙ぐる計
 りなき所存はこれを看取しなかつた。未
 だ確定的の結論には到達しなかつた。ま
 た沖繩現地のかけり状態もかんがみ
異存と不安との向に彷徨(あるま)感
 ぜられた。

以上各項の次序はあるも、本使としては、
 すべて東京における両政府間交渉が決定す
 べき内題であること、私言の次序はあるも
 決定を待機する地位にあることを明確にし
 てあつた。

本使発言の正誤を要する事項は中略し掲載す。
 (7)

記録

準備委開催について

4.3.5
米北

5日、村田参事官の5日電話連絡に用い、
千原課長の指示に基き、吉川の昭陽次長
に対し、5日(午後7時)次々とあり回答した。

記

1. 開催日時. 初回合合は18日開催
すべき位である。屋良主席の日程を考
慮せしめ、18日に開催する取計の事。
2. 開催場所. 諮問委員会事務局と
して、高等弁務官府、Woban viewは絶対
不可との局長の意見あり。

取扱注意

準備委関係

北米第一課

昭陽次長に電話連絡

佐藤

吉川
佐藤
米北

4日昭陽次長に要旨次々とあり電話連絡した。

1. 準備委初回合合は18日位に開催す
方向に根回し中。次回諮問委合合

(金曜日)の具体的線が出たか知らぬ。
屋良主席が石博に出席するにてもあり。

目下調整中。

2. 準備委初回合合は本府の大河原参

事官の出席するにてもあり。大俣も待った
いりともあり。米北の意見あり。

3. 諮問委発足当時 佐藤総理及び高橋
スエーデンの発表に2日とあり。これは
東京において準備すべし。

外務省

秘
無期限

アメリカ局長
参事官
北米第一課長

村田参事官電話連絡

25.3.5
米北1

5日 4:55 村田参事官より次々と連絡
越すことになり、明日の諮問委員会

（計/回会合式次第はつきり）

席上高瀬大使より提案が予定されている。
右に差支えなければ、本省の見解をばす所

送るし回報ありたい旨要請がなされた（吉川氏）

記

1. 計/回会合はつきり
本5日ニヨットり高瀬大使に通報あり。

日本側では18日に計/回会合の開催を
希望している。23日とある。

考えは中々である。即ち屋良主席が

13日と20日と本土へ出張が予定と
いわれる。出張日程変更につき回答が

2. 式次第はつきり

開会 10:30 または 13:30

場所 高等弁務官府打は Newbourn
view

参加者 日米両方 各7~8名

式次第

開会 日米両国メーデー講上り

高等弁務官挨拶 通訳

高瀬大使挨拶 :

屋良主席挨拶 :

各代表の随員紹介

以上公開。テレビ放映

非公式討議

新聞発表 11:30 午後 14:30

夜 レセプション 19:00 頃
東京ホテルにて

英文招待状の英文の準備委
員会名にて。日本語の日本語
者名にて発行

招待状の日本語の現金
状の現物にて支払を分担

ソガヒ 万大博阪

配布せよ

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

1780

電信写

政軍外外領官
務務次典房
官官審審長長
備備(厚計
備備(女会管給

総番号(TA) 10204 主管
70年3月6日17時30分 ナハ 発着
70年3月6日21時06分 本省 米地I.
外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

参調析企
参領旅移

参地中東
北東西
参北北保
参一二
参西東洋
西東

参寄近ア
次総経国万
参費統国
参政技二
国一理
参条(秘)想
参政経科
軍社専
参道内外
一二

プレプ・コムヤ/回会談準備打合わせ(連)

ヤ22号 平(秘扱)
プレプヤ/回会合について小委員会を作成したシナリオにつき、6日定例会談後、アドホックミーティングを開催した。(本候、村田、賀陽、ショット、ソルターズ、セナカ、カキノハナ出席)
1. 会合の日取りについては、当方より公文交換後あまり時日が経過すること望ましからず、また閣僚級やコンコムの会合も3月下旬に予定しており、これらを勘案すれば

外務省

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

18日というわが方の案ですら遅すぎる旨再三強調したが、琉政側より主席は万博や経済振興会出席おど以前からコミットして大諸用務のため、20日より前に帰任することは種々検討してみても不可能状態であり、23日以後おどは好都合な旨特にわが方の了承を求める発言があった。ショットより、ハイコムでの日程につき未だ最終的確認には至らざるも、23日は月曜日につきパブリシテ一の見地から24日の方が良いと思ふ旨述べた。事情上記の如くにつき当方として23日または24日とするにと止むを得ざるものと思料する(時間は朝刊掲載を考慮し、1時半開始)
2. 会合場所については本来、T-60Kにおいて行うことが望ましいと考へるが、テレビやラジオのカバーも考慮し、アドコムヤ/回会合程度の出席者も急須におい

外務省

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

て考へれば現在のスペースでは到底賄いきれないとする莫大の意見が一致した。代替場所としてはハイコム会議室が諸般の莫大物理的条件を充足しており、若分の莫大について、ハイコムがホストとして本使がイレバイトして会合を行おうと云う建前で考へれば格別の支障はあらずと考へた。人の日取の莫大も含め何分の儀同電ありたい。その他今後の具体的準備の基礎として取敢えず合意したシナリオ概要次の通り。

(1)出席者

- A. 日本側 本使外務省代表者スタッフ (調査員も含む) 岸所長
- B. 米側 ハイコム、ショット、ファイリ、ミューズ (スペシアル・タイース・グループ)、ノールズ、フォールズ、グレグ、フォールターズ、ゼリングスレー、
- C. 琉球側 主席顧問代理副主席、事務局ス

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

スタッフ (立法院議長高裁判事については未定)
(2) 次序

- A. オープニングセレモニー (TV およびプレスカバー許可)
日米両政府よりのメッセージ朗読、両代表および顧問のステートメント、スタッフ紹介
- B. オノ同会合 (非公用) (原則として両代表顧問各代理のみ)
定例会合日等の「ベークアップ・エッセンシャルズ」討議、プレスリリース、その他必要事項につき合意
- C. プレス会見 (オノ同会合終了直後) (約30分間)
両代表顧問出席 (プレスリリース配布)
- D. レセプション (7時より) (於東京ホテル)

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

両代表共催、顧問参加（或いは三者共催）

大. 対お当方関係^のメッセージおよびステートメントについては作成に着手方御配慮願わらば
い。 (英訳文も含む)

(3)

外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印)	符号表示 暗 略 平	※ 総第 11258 号
秋林	※ 第 6 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発 45.3.9 10 49
大至急 至急 ・普通・LTF		※ 発電係 下

大 臣 秋林	主管 PHH局長	主管局部課 (室) 名 朱北一
政務次官 牛	号	起案 昭和 45 年 3 月 7 日
事務次官 牛	号	起案者 牛一長 電話番号 444
外務審議官 牛	朱北一長	314
法務外務審議官 牛		
官房長 牛		

協議先 官総長	条約局長 牛
官書記	号
牛	号

在 那 露 大使 大	臨時代理大使	あて 愛知大臣
高波 総領事	代理	

電 報 在 大使 大	臨時代理大使	あて
	総領事	代理

件名 **準備巻魚会初会合**

電才又2号に便し

公文交換後1日(牛)
日取りは **23日** とされた。

下地 **加藤** 号 **牛** 加 産 業 立 地 調 査 団 内 組

の 用 務 事 務 在 牛

2. 東京市の号加着伏 本省大河原着号

字 濟

9 96 96

(※印刷内は電信課記入)

(昭和四二七一改正)

GB-1

2

總理府 加藤 特連局号事 直考之 2113.

現地出席者には 2112 号 電の とおりに 差支之 2113.

(2112 号 電 上 変 更 の 決 定 有 事 也)

3. 会合場所 2112 号 T-60 と 訂 定 せ ば

本館と考之るのて T-60 等 4 70-11 取 材

と 訂 定 せ ば の 方 法 正 講 究 せ ば 可 也

(2112 号 電 決 定 有 事 也)

慮 せ ば 可 也

と 訂 定 せ ば 可 也 出 来 ない 場 合 は 正 講 究 せ ば 可 也

適 当 な ホ テ ル 右 等 正 講 究 せ ば 可 也

左 等 正 講 究 せ ば 可 也

(正 講 究 せ ば 可 也)

初 会 合 は 右 等 正 講 究 せ ば 可 也

高 等 正 講 究 せ ば 可 也

国 会 等 正 講 究 せ ば 可 也

正 講 究 せ ば 可 也

4. 式 次 才 は 電 才 正 講 究 せ ば 可 也

5. X46-2; スタートメント 2112 号 検 査 中

GB-3

外務省

ソカヒ 万大 阪

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

政事外外領官
務務次典房
官官審審長長
儀総と厚計
儀文会営給

国資長領移長
参調析企
参領旅移

ア参地中東
長北東西
参北北保
中南審歐
参西東洋
西東

近ア長経
参書近ア
次総経国万

長経協長条
参賀統国
参政技二
国一理

参衆協規

長国参政経科
軍社專

長信長文長
参道内外
一二

総番号(TA) 10792 主管
70年3月10日14時03分 ナハ 発着 米北1
70年3月10日16時25分 本省 着 米北1

外務大臣殿 高瀬 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

諮問委員会 (連)

ヌ24号 平 (秘扱)

10日、ヌ179回会合。

1. ショットより観桜会開催の予定日につき照会があったので、本件についてはいまだ東京より何等通報に接しおらざる旨答えおいた。

本件についてはアドコム最後のチマンスでもあり、少くともランパート弁務官ショット、瀬長、両代表のご招待こそあるよう致したい。

なお、貴見至急ご回報おがいたい。

2. 総務小委員会より提起せるフレアコム

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

合同事務局設置および同職能についての意見書ショットより各代表に手交した。検討のうえ次回会合で討議することとした。

3. 米側より提案ありたるフレアコム初会合場所につきショットより日本側リアクションと尋ねたので、本使より、東京では米軍基地施設での会合には内政上の理由から難色と示しあり、候補施設として商工会議所ビル如何との意見もある旨述べたところ、瀬長より商議ビルを使用することは面白からず、むしろ国場ビルを推したいとの意見を述べた。

ショットより本件再考の余地あるのを、レセアジョンのゲストリスト等の作成も含め総務小委員会で至急検討せしめたいと提言したので、右了承した。

4. 懸案勧告条文の検討状況につきショット

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

トより次のとおり説明した。

(河川管理) 一部字句の訂正につき
G・O・J の回答まち。

(公衆衛生) 米側より提起した一部
文章訂正につき小委員会を再検討するこ
ととなった。

(水先制度) G・O・J の検討まち。

(中小企業、戸籍および無線従事
者) 米側をお検討中。

(3)

(回覧番号) 外務省電信案 (分類)

機密表示 (極秘・秘の朱印) 秘	符号表示 暗 略 平	※ 総第 11547 号
	※ 第 7 号	※ 昭和 45.3.10 18.49
秘	大至急 至急 · 普通 · LTF	※ 発電係 あ

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官 長	主管 アメリカ局長 参事官 北米才一課長	主管局部課 (室) 名 米北 / 起案 昭和 45 年 3 月 10 日 起案者 吉川 電話番号 445
---	-------------------------------	---

協議先

大使 臨時代理大使
在 那 高 潮 総領事 代理 あて 夏 知 大臣 発

電 在 大使 臨時代理大使
報 報 総領事 代理 あて

件名 準備委事務局

貴電 24 号、2 に 関 し、

シヨット 8 月 5 日 受 けた 意見書 の 概要 に つ き

電報 文 字 だ け に 対 し、 2 部 送 付

に つ き、

(7)

電信課長
印

済

10 145
25

(※印欄内は電信課記入)

(昭和四二・七一 改正)

万大
博阪

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

586

総番号(TA) 10786 主管
 70年3月10日13時47分 ナハ 発着 米北1
 70年3月10日15時43分 本省 着
 外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

返還準備委員会/回会合準備(連)

カ25号 平(秋坂)

差電米北カ6号に開し

1. ハイコムキの都合もあり24日とす。ことにつき、特に御承引ねがはす。(G. R. I. も主席の帰任の日取との度連め、準備の都合上24日を強く希望している)
2. 場所についてはハイコムホールを10日小委員会委員として現場視察せしめ、ほかトウキョウホテルも考慮中。

外外領官
 典房
 審長長
 計
 文会管給

参調析企
 参領旅移

参地中東
 北東西
 参北北保
 参一二
 参西東洋
 西東

参参近ア
 次総経国万
 参實統国
 参政技二
 国一理
 参条規
 参政経科
 軍社専
 参道内外

二

秘

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

(商工会議所ホールは現政側に難色がある)
 米側はハイコム会議室のラインでハイコム(の原則的了承を得る)の由をも、変更の可能性を検討することに同意している
 3. メッセージについては、米側より、プレブ・コムはコンコムのいわば現地機構としての性格を有するから、アド・コム発足の際のごとく大統領より直接メッセージを受け、立場にあるヤ否や疑念がある旨申越し不こと3. 在米大使館とも調整の上、おま方のメッセージに就いてもその形式等然るべく御検討願わしだい。

(3)

— 2 —



万大
傳販

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

188

電信写

大政厚外外領宣
務務典房
次次
官官齊齊長長
備備電電厚計
備備書文会當給

国
長
領
移
長
參
調
析
企
參
領
旅
多

參
地
中
東
長
北
東
西
參
北
北
保
參
一
二
參
西
東
洋
長
西
亞

近
ア
長
長
參
書
近
ア
次
總
經
國
万

長
經
協
長
參
參
資
統
三
參
政
按
二
國
一
理

參
條
協
規
參
政
經
科

長
參
道
內
外
一
二

長
文
長
一
二

總番号(TA) 11087
70年3月11日16時28分 十 八 發 管
70年3月11日19時21分 本 省 費 東北1

外務大臣殿 高瀬 大使

プレブ・コムカノ回会議(急)

カ26号 平

往電カ25号に關し

11日ショットより、ハイコムとしては、日本側の意向にも鑑み、T-60を使用することに異存ない旨申し越したので、手狭な点は遺り線りの上記者会見も含め、階会議室で行なうこととする(琉政側も同意済)。

(了)

方大
博販

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

645

総番号 (TA) 11088
 70年3月11日16時23分 ナハ 発着 米北1
 70年3月11日19時21分 本省 発着
 外務大臣殿 高瀬 大使 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会合同事務局

オニ7号 平 (秘扱)
 貴電米北1オニ7号に關し

照会あつた意見書の概要次のとおり(テキスト2部を送りました)。

人小委員会がプロコムに合同事務局を
 設置することをお望みしること認められた。

合同事務局は次の職務を行おう。

- (1) プロコムの会議の開催の準備
- (2) 代表および代表代理の会議の議事録を作成し保管すること((R.O.J.)、(R.I.)は日英両語(使用)会議

外務省

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

には夫々の速記者を同席せしめることと提唱に長。日語速記者はパートタイマーと予定してゐる。

(3) 報告書等の作成

(4) 広報のための新聞発表資料その他関係資料の作成

(5) プロコム文書の翻訳

(6) 共通経費に対する会議室

(7) 合同事務局の事務室および共用部分の維持管理に関すること

又、R.O.J.委員は東京では合同事務局の必要性につき目下検討中である旨長がR.I.委員に、本件琉政による決定がなればあらぬ旨又々述べた。

(7)

外務省


1部 諮問委員(12)

アメリカ局長
参事官
北米第一課長

公 信 第 1 2 号
昭和 4 5 年 3 月 1 2 日

外 務 大 臣
愛 知 揆 一 殿

日米諮問委員会日本政府代表

高 瀬 侍 郎 

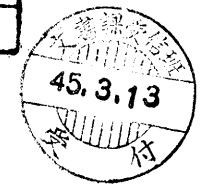
準備委員会合同事務局設置に
関する意見書テキストの送付

實電米北1第7号及び往電第27号に関し、準備委員会合同事務局設置に関する意見書テキスト2部別添のとおり送付する。

外交
首席参事官
参事官
渉外調査
漁業
航空
科学協力
連絡調整
調査
力
局業務

尚6日の定例会議後のアド・ホック・ミーティングにおいて討議された PrepCom 開会式及び第1回会合に関するシナリオ・テキスト(往電第22号参照)2部何等御参考まで同封送付申上げる。

付 属 添 付


45.3.13
付

10 March 1970

TO: Chairman, AdCom

FROM: Administrative Subcommittee

SUBJECT: Joint Secretariat for PrepCom

1. The subcommittee recognizes that it is desirable to have a Joint Secretariat for PrepCom. We anticipate that the Joint Secretariat would perform the following functions:

- a. Make arrangements for the holding of PrepCom meetings.
- b. Record, prepare, and hold for safekeeping the minutes of PrepCom Representative and Alternate Representative level-meetings. (GOJ and GRI advocated use of English and Japanese language stenographers at meetings where both languages are used. The Japanese stenographer might be on a part-time basis.)
- c. Preparation of reports.
- d. Preparation of news releases and other information for public dissemination.
- e. Translation of PrepCom documents.
- f. Matters concerning the common budget.
- g. Matters concerning the maintenance and management of the Joint Secretariat office, conference room, and common-use areas.

2. The GOJ member stressed that Tokyo is currently studying the need for a Joint Secretariat. The GRI member stated that his Element must also await a decision by the GRI Executive Branch.

95-3.6

Suggested Procedures for Opening Ceremony and
First Meeting of Preparatory Commission

I. Date: Wednesday, 18 March
*GOJ and USG prefer 18 March but GRI wants later date.

Time: 1330 hours
*Alternative - 1030 hours

Place: High Commissioner's conference room
*Alternative - Harborview Club T 60

Participants and Guests:

GOJ - GOJ Representative
Chief of JCOO
One official of the Foreign Ministry
Three counselors
Three research officers

USG - U S Representative
Alternate Representative
Civil Administrator
Chairman, Special Task Group
Political Advisor to HICOM
Special Assistant to HICOM
Information Coordinator
Two USG staff members

GRI - Advisor
Depty Chief Executive
Alternate Advisor
Three GRI staff members

Others: Stenographers (Japanese & English)
Language Aide

II. Procedures

A. Opening Ceremony (Press, T.V. and radio coverage permitted)

1. SA/HICOM to call PrepCom opening ceremony to order
2. Messages from respective governments (To be interpreted)
3. U S Representative's statement (To be interpreted)
4. GOJ Representative's statement (" " ")
5. Advisor's statement (" " ")
6. Representatives to introduce their staff members

B. First Meeting (No press, T.V. or radio coverage)

1. SA/HICOM to call first meeting of PrepCom to order
2. Proposals to be tabled by GOJ Representative
3. Agreement on press release
4. Agreement on other procedural matters
5. SA/HICOM to adjourn the meeting

Press Conference

Date: 18 March
Time: Immediately after first meeting (1430 hours or 1130 hours) for 30 minutes or less
Place: High Commissioner's conference room

Preparation of Press Release:

Text of press release to be written and reproduced by PrepCom staff members from respective governments.

Contact with Press:

HICOM Information Coordinator to contact press prior to press conference and take care of press people and distribute materials on day of conference.

Reception

Date: 18 March
Time: 1900 hours
Place: Golden Hall, Tokyu Hotel
No. of Guests: 300

*Lists to be submitted by respective governments.

Invitations: Invitations to be issued by PrepCom. Names of Representatives and Advisor to be on Japanese language invitations.

Funds: To be borne either in cash or in kind.

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

1244

電信写

総番号(TA) 12024 主管
 70年3月16日15時45分 ナハ 発着 米北1
 70年3月16日20時15分 本省 着

外務大臣殿 高瀬(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

準備委員会

才29号 平 秘扱
 準備委員会の運営に關し、米疏と下記の如きノ案をもつて話し合いたさところ右について、及びその内容について貴見至急何分の儀回電ありたい。

記

「準備委員会の運営について」

1. 会議

(1) 委員会の開催日

1. 準備委員会(以下單に会議と言う)は毎月1回才①木曜日に定例会議を開催する

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

ほか必要に応じて隨時會議を開催するものとする。

口. 定例会議開催予定日が、日米疏いづれかの休日に當る場合には、會議は順延するものとする。

(2) 開催場所

委員会の會議は于60の會議室において開催する。
(於此の會議室に於て、192に所在する(ビルディング60))

(3) 會議の公用語

委員会の公用語は日英兩國語とする。

(4) 代理出席

代表又は顧問が止むを得ない事情により出席出來ない時は、^{15日に至り}代表代理または顧問代理と出席させることが出来る。

(5) 委員会の陪席者の範囲

委員会には別段の決定をしない限り、各代表または顧問は6名を越えない数の補助

— 2 —

外務省
 秘書官
 参事長
 参事
 次長
 主任
 庶務
 書記
 通譯
 司書
 事務官
 技官
 職工
 事務員
 庶務員
 書記員
 通譯員
 司書員
 事務員
 技官
 職工
 事務員

参調折企
 参領旅移

中東
 北東
 北北
 中南
 西東
 西東

参書近ア
 次総経國万

参賀統國
 参政技二
 国一理

協規

参政經科

單社專

参道内外

一二

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

要員を陪席させることが出来る。また、^{委員会}補助要員外の者の参加につき決定することが出来る

(6) 会議の非公開

「委員会の会議は別段の決定をしない限り非公開とする。

(7) 会議の記録作製

委員会は別段の決定をしない限り^{日英両国語に於て}会議の記録を作製する。

2. 準備委員会の組織

(1) 代表代理の会議

代表代理及び顧問代理は~~海運支那日委員が~~
^(必要に於て会議に用務するに於て)

~~全日英日定例会議に出席するほか、必要に
会議に用務回数毎に2回以下を、且つ、相互に合意を以て
之と臨時臨時会議と開催するものとする。~~
日-~~日~~に於ては、

(2) 顧問委員会の設置

委員会の活動を補佐せしめるため各~~委員~~^{代表}
及び顧問の補助要員の中から指名~~された者~~

か、それ以外

及び当該政府職員

18日
再訂正
連絡
越す。

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

秘

をもちて^{種々の恒常的及び臨時的事}小委員会を設置するものとする。

(3) 合同事務局の設置

イ. 委員会は会議の準備、記録の作製、
保管、^{共通事務の処理}事務などの事務を処理させるため合
同事務局を設置する。

ロ. 合同事務局は1名の事務局長と委員
会が必要と認められた数の~~関係政府から提供さ
れた~~職員で構成する。

ハ. 合同事務局は²⁹¹委員会の支持を受け^た
事務を処理する。

(9)

— 4 —

29号
 (7) (5.11.1.21) 連号270乙
 270乙に
 手紙の件、270乙の件、270乙の件、
 270乙の件、270乙の件、270乙の件、
 昭和 (7) 2 (8) 乙 270。

① 村田参事官の電話連絡
 4.11.20.

② 多田参事官の差支の件と答へた件

GA 6

外務省

アメリカ局長へ

別添
 外務省参事官
 北米第一課長

公信第 15 号
 昭和 45 年 3 月 17 日

外務大臣
 宛 知 揆 一 殿

日米琉球問題委員会日本政府代表

高 瀬 侍 郎

準備委員会の運営について

往電第 29 号をもつて討論した標記案文につき一部字句修正を
 行なつたので御検討願いたく日英案文各 2 部別添送付する。

付 属 添 付

要
 首
 南
 渉
 海
 航
 科
 電
 調
 力
 務

45.3.18

日 本 政 府

復 帰 準 備 委 員 会
沖 繩 那 覇

首 題： 準備委員会の運営について

1 準備委員会の会議

(1) 委員会の開催日

イ 準備委員会(以下単に「委員会」という。)は、毎月1回
第一水曜日に定例会議を開催するほか、必要に応じ、随時、
臨時会議を開催するものとする。

ロ 定期会議開催予定日が日米疏いずれかの休日にあたる場合
には、会議は順延するものとする。

(2) 開催場所

委員会の会議は、別段の決定をしない限り、那覇市天妃町
1の2に所在する建物(ビルディングT60)の会議室にお
いて開催する。

(3) 会議の公用語

委員会の公用語は、日英両国語とする。

(4) 代理出席

代表又は顧問がやむを得ない事情により出席できないとき

首 題： 準備委員会の運営について

は、必要に応じ代表代理又は顧問代理を出席せしめその代行
をさせるものとする。

(5) 委員会の陪席者の範囲

委員会には、別段の決定をしない限り、各代表又は顧問は
6名を越えない数の補助要員を陪席させることができる。
また、委員会は、補助要員以外の者の参加につき決定するこ
とができる。

(6) 会議の非公開

委員会の会議は、別段の決定をしない限り、非公開とする。

(7) 会議の記録の作成

委員会は、別段の決定をしない限り、日英両国語による会
議の記録を作成する。

2 準備委員会の組織

(1) 代表代理の会議

代表代理及び顧問代理は、必要に応じ会議を開催するもの
とする。 会議は、毎週二回を下らず、かつ、相互に合意さ
れた日に開催するものとする。

(2) 小委員会の設置

首 題： 準備委員会の運営について

委員会の活動を補佐せしめるため、各代表及び顧問がそれぞれその補助要員及び当該政府職員^{の中}から指名した者をもつて構成する恒常的な及び臨時的な小委員会を設置するものとする。

(3) 合同事務局の設置

- イ 委員会は、会議の準備、記録の作成、保管、共通経費の処理等の事務を処理させるため合同事務局を設置する。
- ロ 合同事務局は、1名の事務局長と委員会が必要と認めた数の職員で構成する。
- ハ 合同事務局は、その他委員会の指示を受けた事務を処理する。

17 March 1972

Operations of the Preparatory Commission

1. Meetings of Preparatory Commission

a. Date of Meetings

(1) The Preparatory Commission (hereinafter referred to as "the Commission") shall hold regular meetings on the first Wednesday of every month. The Commission shall also hold other meetings from time to time as necessary.

(2) If a day when the Commission is scheduled to meet falls upon a holiday in Japan, the United States, or the Ryukyu Islands, the meeting of the Commission shall be postponed until the next working day.

b. Place of Meetings

Unless otherwise determined, the meetings of the Commission shall be held in the conference room of the building at 1-2 Tenpi-Cho, Naha (Building T-60).

c. Official Languages of Meetings

The official languages of the Commission shall be Japanese and English.

d. Alternate Representation

If a Representative or an Advisor cannot attend a meeting by force of circumstances, an Alternate Representative or an Alternate Advisor, as required, shall attend and act for him.

e. Participants at Meetings of the Commission

Unless otherwise determined, each Representative or the Advisor may be accompanied at meetings of the Commission by not more than six of his supporting staff. Also, the Commission may decide to include in a meeting persons other than members of the respective supporting staffs.

f. Meetings in Camera

Unless otherwise determined, meetings shall be held in camera.

g. Preparation and Record of Minutes

Unless otherwise determined, the Commission shall keep official records of the meetings in both English and Japanese.

2. Organization of Preparatory Commission

a. Meetings of Alternate Representatives

The Alternate Representatives and Alternate Advisor shall hold meetings as may be required, but not less frequently than twice each week and on days to be mutually agreed upon.

b. Establishment of Subcommittees

To assist the activities of the Commission, it shall form such subcommittees as may be required, both on a permanent and on an ad hoc basis, composed of members appointed by each Representative and Advisor, respectively, from his supporting staff or from among other officials of his government.

c. Establishment of the Joint Secretariat

(1) The Commission shall establish a Joint Secretariat to conduct such business as arrangements for the holding of Commission meetings, the recording and preparation of minutes of Commission meetings and their safekeeping, and the handling of a common budget.

(2) The Joint Secretariat shall be composed of one Director and the number of personnel that the Commission recognizes as necessary.

(3) The Joint Secretariat shall conduct other business as directed by the Commission.

ノカヒ 万大 博医

大政事外外機官
務務 典房
次次 審審長長
臣官官審審長長
機機人機機計
備備文文會會給
費費
国資長領移長
参調折企
参領旅移

ア 参地中東
長 北東四
米長 参北北保
中南審歌
参西東洋
長 西東

近ア長経
参参近ア
次次総経国万
長経協長条
参参統三
参参政技二
国国一理
参参条麻規
長国 参政経科
長情長文長
参参道内外
一二

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

649

電信写

総番号(TA) / 2/74
 70年3月17日14時00分 本八省 発着 米北1
 70年3月17日15時56分 本省 発着
 外務大臣殿 高頼(大使) 臨時代理大使 総領事 代理

諮問委員会(速)

ア30号 平(秘扱) 至急
 17日ア181 回会合

1. 総務小委員会より提起したプレプログラム南会式等次次ア了次案及びレポートより通報越したア1回会合におけるエングラで未決定のもの各代表員において一括検討することとした。(ア了次案及びレポート書簡空送あり)
2. 準備委員会の名前につき、報告より復帰のすめの委員会を以て、邦文では復帰準

秘

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

備委員会とするは、英文の場合リバーシンの語を入れることとし、その意見を述べた。

討議の結果、文書で表示する場合(ザリバーシジョン、アライパストリー・コム)とするも通称は(アソコム)とすること意見一致した。

本件につき意見ありは脚回示請い。
 3. 懸案6勅答案文の検討状況につき、コメントより河川管理は米側(OK)、中小企業、無線従事者もほとんど問題なく、これも、戸籍はなお検討を要する旨、また公衆衛生、水気制度は日本側検討終了の旨説明した。

個別又は一括採扱への態度は次回会合において討議することとした。
 (了)

秘


本信
東京信ヲ付

1945.3.17
9
1945.3.17

公 信 第 17 号
昭和45年3月17日

外 務 大 臣
知 照 一 郎

日米経済調査委員会日本政府代表

孫 海 侍 郎 

PrepCom 即会式次第第三次案文等の送付

往第30号を以て送附した、即記式次第第三次案及びシヨツト
事簡各2部別添送付する。

付 添 送 付

送付
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30

40.3.18

17 March 1970

Suggested Procedures for Opening Ceremony and
First Meeting of Preparatory Commission

I. Date: Tuesday, 24 March
Time: 1330 hours (Subject to further discussion)
Place: AdCom Conference Room

Participants and Guests:

GOJ - GOJ Representative
Chief of JGOO
One official of Ministry of Foreign Affairs
One official of Prime Minister's Office
Three Counselors
Three Research Officers

USG - U S Representative
Alternate Representative
Civil Administrator
Chairman, Special Task Group
Political Advisor to HICOM
Special Assistant to HICOM
Information Coordinator
Two USG Staff members

GRI - Advisor
Deputy Chief Executive
Alternate Advisor
Three GRI staff members
CE's Secretary

Others: Stenographers (English & Japanese)
Language Aide

II. Procedures

A. Opening Ceremony (Press, T.V. and Radio coverage permitted)

1. Master of ceremony to call PrepCom opening ceremony to order message
2. U S Representative to read from his government and make own statement (To be interpreted)
3. GOJ Representative to read message from his government and make own statement (To be interpreted)
4. Advisor to make statement (To be interpreted)
5. Representatives to introduce their staff members

B. First meeting (No press, T.V. or Radio coverage)

1. Master of Ceremony to call first meeting of PrepCom to order
2. Agreement on "Operations of the Preparatory Commission" (See attachment)
3. Agreement that discussion of the following topics should be carried on at the alternate level:
 - a. Work program to be organized by alternates
 - b. Type, number, and names of subcommittees
 - c. Estimate of common expenses and method of sharing them
4. Agreement on press release
5. Master of Ceremony to adjourn the meeting

Press Conference

Date: 24 March
Time: Immediately after first meeting for 45 minutes or less
Place: AdCom Conference Room

Preparation of Press Release:

Text of press release to be written and reproduced by PrepCom staff members from respective governments.

Contact with Press:

Officials from three Governments to contact press prior to press conference and take care of press people and distribute materials on day of conference.

Reception

Date: 24 March
Time: 1830-2000 hours
Place: Golden Hall, Tokyu Hotel
No. of Guests: About 250
Invitations: Invitations to be issued by PrepCom
Funds: To be borne by the three Governments in cash

ADCOM

16 March 1970

MEMORANDUM FOR: AMBASSADOR TAKASE
MR SENAGA

In response to your request I am attaching a copy of the agenda items I raised for discussion this morning at our ad hoc meeting on "Un-resolved Items for Inauguration of PrepCom."

Also to aid our respective recollections of what we agreed upon I will recapitulate the following:

1. The written invitations for the inaugural events shall read "The Preparatory Commission requests the pleasure of," etc.

2. For the reception on the evening of 24 March, there will be a receiving line composed of the High Commissioner, Ambassador Takase and Chief Executive Yara, in that order. Each member of the receiving line may have his interpreter to help with introductions if he so desires. There will be no speeches given or toasts proposed during the reception.

3 and 4. Each Member and the Adviser will give a five minute speech in his own language at the inaugural ceremony. There will also be two congratulatory messages. These speeches and messages, which will have been written and reproduced for distribution at the ceremonies, will in the order given be read to the guests by Mr. Sankey, the High Commissioner's interpreter, in English from the Japanese, and in Japanese from the English. The order of speaking will be the High Commissioner, Ambassador Takase, Chief Executive Yara. Mr. Sankey will also, in Japanese and English, announce the opening of the ceremonies, each speaker, and the close.

5. The official title of The Preparatory Commission will be those three words, unless there should be subsequent official agreement on a substitute.

1 Incl
as


EDDIE W. SCHODT
Chairman

For Ad hoc meeting 1000 hours, Monday, 16 March 1970

Unresolved items for Inauguration of PrepCom:

1. Written invitations. How shall they read? The Preparatory Commission requests etc? The Members of the PrepCom, etc? The Members of and the Adviser of PrepCom, etc?
2. Receiving line. Shall there be one, and if so, how organized? If none, how shall we proceed. Shall there be a toast to PrepCom, and if so by whom?
3. Speeches or other commemorative events. Still being worked on in Tokyo. Presumably there will be a message from Aichi and one from Meyer.
4. Procedure for opening and closing the inaugural ceremony.
5. Procedure for the first meeting. Shall there be a chairman, who will rotate thereafter between the two members?
6. Official title of PrepCom. Okinawa PrepCom? Okinawa Reversion PrepCom? Reversion PrepCom?

和/次第

10 March 1970

TO: Chairman, AdCom.

FROM: Administrative Subcommittee

SUBJECT: Joint Secretariat for PrepCom

1. The subcommittee recognizes that it is desirable to have a Joint Secretariat for PrepCom. We anticipate that the Joint Secretariat would perform the following functions:

- a. Make arrangements for the holding of PrepCom meetings.
- b. Record, prepare, and hold for safekeeping the minutes of PrepCom Representative and Alternate Representative level-meetings. (GOJ and GRI advocated use of English and Japanese language stenographers at meetings where both languages are used. The Japanese stenographer might be on a part-time basis.)
- c. Preparation of reports.
- d. Preparation of news releases and other information for public dissemination.
- e. Translation of PrepCom documents.
- f. Matters concerning the common budget.
- g. Matters concerning the maintenance and management of the Joint Secretariat office, conference room, and common-use areas.

2. The GOJ member stressed that Tokyo is currently studying the need for a Joint Secretariat. The GRI member stated that his Element must also await a decision by the GRI Executive Branch.

II. Procedures

- A. Opening Ceremony (Press, T.V. and radio coverage permitted)
 1. SA/HICOM to call PrepCom opening ceremony to order
 2. Messages from respective governments (To be interpreted)
 3. U S Representative's statement (To be interpreted)
 4. GOJ Representative's statement (" " ")
 5. Advisor's statement (" " ")
 6. Representatives to introduce their staff members
- B. First Meeting (No press, T.V. or radio coverage)
 1. SA/HICOM to call first meeting of PrepCom to order
 2. Proposals to be tabled by GOJ Representative
 3. Agreement on press release
 4. Agreement on other procedural matters
 5. SA/HICOM to adjourn the meeting

Suggested Procedures for Opening Ceremony and
First Meeting of Preparatory Commission

I. Date: Wednesday, 18 March
 *GOJ and USG prefer 18 March but GRI wants later date.

Time: 1330 hours
 *Alternative - 1030 hours

Place: High Commissioner's conference room
 *Alternative - Harborview Club T 6⁰

Participants and Guests:

- GOJ - GOJ Representative
 Chief of JCCO
 One official of the Foreign Ministry
 Three counselors
 Three research officers
- USG - U S Representative
 Alternate Representative
 Civil Administrator
 Chairman, Special Task Group
 Political Advisor to HICOM
 Special Assistant to HICOM
 Information Coordinator
 Two USG staff members
- GRI - Advisor
 Deputy Chief Executive
 Alternate Advisor
 Three GRI staff members
- Others: Stenographers (Japanese & English)
 Language Aide

Press Conference

Date: 18 March

Time: Immediately after first meeting (1430 hours or 1130 hours)
 for 30 minutes or less

Place: High Commissioner's conference room

Preparation of Press Release:
 Text of press release to be written and reproduced by
 PrepCom staff members from respective governments.

Contact with Press:

HICOM Information Coordinator to contact press prior to
press conference and take care of press people and
distribute materials on day of conference.

Reception

Date: 18 March

Time: 1900 hours

Place: Golden Hall, Tokyu Hotel

No. of Guests: 300
 *Lists to be submitted by respective governments.

Invitations: Invitations to be issued by PrepCom. Names of Repre-
 sentatives and Advisor to be on Japanese language
 invitations.

Funds: To be borne either in cash or in kind.

558 外務省電信案 (分類)

機密表示 (機密・密の未印)	符号表示 暗 略 平	※ 総第 13534 号
秘 扱	※ 第 9 号	※ 昭和 年 月 日 時 分 発 45.3.19 16.23
	大至急 至急 普通 LTF	※ 発電係 2時

大臣 政務次官 事務次官 外務審議官 外務審議官 官房長	主管 アメリカ 参事官 北米第一課	主管局部課 (室) 名 米北 / 起案 昭和 45年 3月 / 8日 起案者 吉川 電話番号 445
	官房書記	条約課長

臨時代理大使
在 那 霸 高 瀬
総領事 代理
あて 夏知 大臣 発

電 報 在 大使 臨時代理大使
総領事 代理 あて

件名 準備委員会

貴電 29号 及び 29号 30号 に 関し、

貴電 29号 に 関し、村田 参事官 等

電話連絡を 含め、差支 ない、また 貴電

29号 29 準備委 の 案 文 及び The

Preparatory Commission for the Revision of the
と 名 付 け 通 称 は 貴 電 案 示 通 り 差 支 ない。(7)

※印欄内は電信案記入
準備委員会の案文に於て米北の修正を要する旨を
昭和四十七年三月十九日

ア211カ局長
参事官
北米第一課長
OK

(在 那 霸 高 瀬 大 使 館 電 報 29号)

準備委の運営に 関し

45.3.19
米北 /

23日 諮問 両 委 村田 参事官 等、次 々 と あり
電話 越 した。(午後 3時 30分、吉川 等)

記

1. 目下 (午後 3時 30分 現在) 米北 と
案 文 の 調 整 を 行 な っ て いる と ころ、調 整 の
過 程 に 関 し、別 紙 案 電 中 鉛 筆 書 き の
と あり 修 正 を 行 っ た。

2. ^{上記 修正案 に 関し}
~~日 英 両 案 と 改 正 電 報 打 字 等
に 関し (遅くとも 19日 (木) まで) 本省、~~
意 見 回 電 あり たい。

GA 6

外務省

写 済

19 73
33